

平成30年度 都市整備部長「政策宣言」中間報告

都市整備部長 津 田 泰 宏

○ 平成30年度重要事業

事業名	安全・安心な道路空間の確保
目 標	引き続き、道路の定期点検を行うとともに、舗装補修工事及び橋梁の長寿命化・耐震化工事を実施し、安全で安心して利用できる道路空間の確保を進めます。 また、市内地域間を連絡する道路や生活に密着した道路の整備を実施し、快適で利便性の高い道路ネットワークの構築を図ります。
進捗状況	定期的に橋梁点検や道路パトロールを実施するとともに、市道大島北野鷺塚線等の舗装補修工事や橋梁の長寿命化・耐震化工事を計画的に進めています。 また、市道高木新開発線や三ヶ34号線等の幹線道路及び生活密着道路の整備を計画的に進めています。
今後の対応	引き続き、適正な道路維持に努め、計画的に道路整備を推進します。

事業名	生活環境の充実
目 標	新たな交流やにぎわいを育む魅力あるまちを形成するため、安全・安心で快適に暮らせる生活環境の整備を進めます。 また、老朽化が進む公園施設については、引き続き、計画的な更新や安全対策を強化し、機能の充実を図ります。
進捗状況	越中大門駅周辺の都市計画道路駅前線の用地取得や、下条川千本桜ポケットパークの整備工事を実施しており、快適な生活環境の形成やにぎわいある地域づくりを進めています。
今後の対応	引き続き、計画的な事業推進に努め、公園施設については、足洗瀉公園、歌の森運動公園、グリーンパークだいもんの遊具更新工事に着手します。

事業名	住宅環境の充実
目 標	「三世代同居住宅支援事業」による住宅リフォーム補助や、「空き家対策支援事業」による老朽危険空き家の解消や跡地利用を推進し、良好な居住環境の形成を進めます。 また、「若者世帯定住促進家賃補助」や「指定宅地取得支援事業」により、定住人口の増加に向け定住促進施策を進めます。
進捗状況	住宅支援制度を利用したこれまでの交付実績は、三世代同居住宅のリフォーム助成は5件、老朽危険空き家の解体助成は10件、若者世帯定住促進家賃補助は24件です。また、指定宅地取得支援の交付件数は95件であり、予算額に対する利用率は72%に達しています。
今後の対応	引き続き、住宅支援制度のより一層の周知に努め、空き家の発生防止や老朽危険空き家の除去、若者世帯の定着や転入及び居住環境の充実に向け、制度の利用促進に努めます。